

全国民感情 リアルタイムマッピング

 「今、日本人が何を感じているか」を瞬時に可視化

 1億個のセンシングポイントから社会の感情を捉える



伊藤政策室長（内閣府）の実体験

Before（従来の政策立案）😞

- 反対率高い政策を後から知る
- 世論調査では具体的原因不明
- 対策が後手後手になりがち

After（リアルタイムマッピング）😄

- 政策発表前に**反対率を予測**、必要に応じて修正
- 地域・世代別の**詳細反応**を把握
- 政策満足度が**45%→65%**に向上
- 政治への信頼度が**30%→70%**に大幅改善



実際の成功例：炭素税導入政策

“「きっと家計負担が増える」と印象を持っていたことを事前に把握

- ✓ 対策：**防災・子育て支援**とセットで発表
- ✓ 結果：反対率を**70%→35%**に抑制
- ✓ 伊藤室長：「国民感情を先取りできて良かった」

感情マッピング機能

地域感情マッピング

- 📍 市区町村単位（**1741地域**）
- 🕒 1時間ごとの感情変化追跡
- 🗺️ 3Dヒートマップ（高度別分布）

トレンド予測

- 📈 ブーム予測：**最大6ヶ月前**
- 🔄 世代間伝播速度の計測
- 🔍 マイクロトレンド早期発見

72種類の感情分類

喜び、悲しみ、怒り、恐れ、驚き、嫌悪の基本6感情を細分化し、日本人特有の感情も含む72種類で分析



処理能力

1PB/秒

リアルタイムデータ処理



炎上予測

6時間前

SNS炎上を事前検知



予測精度

90%

政策反応予測 (±5%)

異常検知AI (1000体)

- **集団パニック指標**: 急激な感情変化を検知
- **デマ拡散追跡**: 虚偽情報をリアルタイム追跡
- **群集心理分析**: 同調圧力の強さを数値化
- **早期警告**: 関係機関への自動通報

政策影響評価AI (500体)

- 政策発表前シミュレーション
- 1分ごとのリアルタイムフィードバック
- セグメント別 (年齢・職業・地域) 影響度
- 最適コミュニケーション戦略の自動生成

技術アーキテクチャ

データ処理基盤

- 差分プライバシー・k-匿名性
- 全国1万拠点のエッジ処理
- Apache Kafka/Flink高速処理

AIモデル構成

- マルチモーダル統合分析
- 因果グラフ+反事実推論
- Transformerベース予測モデル

Ⅲ 段階的な効果測定

短期効果（3ヶ月）

- ＞ 社会問題早期発見率: **85%**
- ＞ トレンド予測的中率: **75%**
- ＞ デマ拡散阻止率: **80%**（24時間以内）

中期効果（1年）

- ＞ マーケティングROI: **300%向上**
- ＞ 社会不安事案: **60%減少**
- ＞ 政策満足度: **45%→65%**

長期効果（3年）

- ＞ 国民幸福度指数: **15ポイント上昇**
- ＞ 政治への信頼度: **30%→70%**
- ＞ 社会的分断: **50%緩和**

¥ 投資対効果分析

初期投資

システム開発	150億円
センサー・インフラ整備	100億円
AIモデル開発	80億円
パートナー連携	20億円

合計 **350億円**

年間期待収益

政府向けサービス	200億円
企業向け分析	400億円
匿名化データ販売	150億円
コンサルティング	50億円

合計 **800億円/年**

ROI: 7.1倍

3年間での投資リターン

初年度で投資回収

※プライバシー保護を最優先に、個人を特定しない集団傾向の把握に限定

🔗 エコシステム連携

プラットフォーム連携

Twitter、Facebook、Instagram、TikTok

📶 通信キャリア3社の位置情報連携

政府・メディア連携

🏛️ 内閣府、総務省、経産省との政策連携

📺 NHK、民放各社との視聴データ共有

🎓 大学・研究機関との共同研究

データ活用範囲

集団傾向の把握と社会課題の早期発見に限定。個人の監視や世論操作は一切行わない。

🛡️ リスク管理と倫理的配慮

プライバシー保護

👤 完全匿名化：個人特定不可能

✅ 明示的同意のあるデータのみ使用

⚙️ データ最小化原則の徹底

🔍 第三者機関による定期監査

倫理的運用

👁️ 透明性：使用目的・方法の公開

🔄 バイアス除去の継続的監視

🗳️ 民主主義：健全な議論の促進

🚫 監視社会化の完全回避